



かんとうだいしんさい ひがい 関東大震災で、どれくらいの被害が出たの



おおじしん
大地震と、続いて起こった大火災によって、14
万人以上の死者・行方不明者が出たんだよ。

昼食時だったので、あちこちで火災が発生した

1923年9月1日午前11時58分、東京府（今の東京都）と神奈川・千葉・埼玉・静岡の4県は、大地震におそわれました。震源地は伊豆大島の北方の海底で、マグニチュード7.9です。震源地に近い小田原市では、家屋の大部分がくずれました。また、ちょうど昼食時で、火を使っている家が多かったため、あちこちで火災が発生し、燃え広がりました。特に、人口密集地が多い東京の東部や横浜市では、たくさんの方が逃げおくれ、焼け死んだり、川でおぼれて死んだりしました。相模湾沿岸は、高さ10メートルほどの津波におそわれ、鎌倉市の市街地は全滅しました。鉄道のレールはあちこちで曲がり、列車が転覆したり、鉄橋が落ちたりしました。

死者だけで10万人近い

関東大震災による被害は、死者9万9331人、行方不明者4万3476人、負傷者10万3733人、全部こわれた家屋12万8000戸あまり、半分ほどこわれた家屋12万6000戸あまり、焼けてしまった家屋44万7000戸あまりで、被害を受けた人の数は、340万人に達しました。

東京の陸軍被服廠あとで、4万人以上が死んだ

東京の本所区横網町（今の墨田区横網）の陸軍被服廠あとの空き地は、約4万人の避難者と家財道具であふれました。午後3時ごろ、まわりから火がおし寄せ、もうれつなつむじ風と炎に、4時間あまりもさらされました。そのため、周辺をふくめて4万4315人もの人々が、ここで窒息死または焼死しました。

